

は し が き

感謝をもって「2010年度の歩み・2011年度事業計画」特集号をお届けいたします。おかげさまで、この1年も総合的民間市民活動推進機関として活発に事業を進めることができました。長年の温かいご支援、ご協力、本当にありがとうございました。

2010年度も、従来から取り組んできた各種事業の充実に努力するとともに、さらに

①「潜在的市民層」への働きかけ（NPOと協働で）

大阪ボランティア協会の次なる事業ビジョンのコア事業1・勤労者ボランティア活動推進事業（ボランティアスタイル）」を本格的に稼働させ、勤労者の参加を増やすだけではなく、その中からボランティアリーダー層の輩出にも力を注ぎました。

② 東日本大震災を支えるための緊急支援の取り組み

3月11日に発災した東日本大震災への緊急支援として、災害ボランティアセンターへのコーディネート派遣や物資輸送支援を実施するとともに、関西で暮らす人が被災地を支える足掛かりになる説明会や情報提供を行いました。

③「ボランタリズム研究」で理論化を進める

2009年秋に開設されたボランタリズム研究所から、協会としては9年ぶりの研究誌『ボランタリズム研究』を創刊しました。

④ 多文化共生社会づくりへの実践として地域との関係づくりにも着手

近年、多文化共生の社会づくりに寄与する活動を展開するため、多文化共生事業委員会を中心に多文化共生問題と向き合う学習会や福島区地域での多文化子育てプロジェクトなどに着手しました。今後、この実践からモデル的プロジェクトを創出していく方向です。

この他、日々のボランティアコーディネーション、25コースに上る多様な講座の開催、市民活動総合情報誌『ウォロ (Vo1o)』、会員誌『THE ボラ協』の発行、さまざまな相談への対応、大阪NPO情報ネットの運営、ボランティアスタッフの公募など、各事業に精力的に取り組みました。

東日本大震災を機に、次なる新しい社会づくりへの関心が高まっています。それらを支えていく一つの媒体としてNPOや市民活動があります。こうした市民の取り組みをさらに活性化することで、多様性を認める自由さと、人の弱さも認め合い支え合える真に豊かな社会づくりにつながると考えています。

そこで、社会の向かうべき方向をしっかりとみ定め、具体的な提案と実践を進めていかねばなりません。市民自らが中心となって運営する総合的な市民活動推進センターである当協会の役割は、ますます大きなものとなっています。

以下に2010年度の事業報告と2011年度の事業計画をまとめました。

グラフなどを多用し、実績が客観的に評価できるよう努力しましたが、記録の意味も兼ね備えようとしたため、文字が小さい上に字数が多く、読みづらい面もあるかと思えます。

しかし、協会のこの1年の歩みをすべて掲載しました。どうかご一読いただき、ご意見、ご批判をいただくとともに、今後とも協会の事業を支えていただきたくお願い申し上げます。

目次

A. 協会の理念、沿革、事業、組織	1 ページ
1. 協会の目指すもの	1 ページ
2. 協会の沿革と事業	2 ページ
1. 社会参画支援、人づくり、開拓的事業推進、市民の視点…にこだわって46年	
2. 「総合的市民活動サポートセンター」としての協会 [2010年度、ミッション実現のため、こんな事業に取り組みました!]	
3. 役員などの名簿	5 ページ
<2011年度の組織図>	
B. 2011年度事業計画	8 ページ
1. 事業計画上のポイント	8 ページ
1. 市民活動と協会を取り巻く状況の変化	
2. 2011年度事業計画における重点事業	
2. 2011年度の事業計画と組織	11 ページ
<事業の推進計画>	
【ボランティア・NPO推進センター部門】 / 【企業市民活動推進センター部門】	
【情報提供・出版・市民シンクタンク事業】 / 【国内外のネットワーク推進事業】	
<事業を支える組織と財政の強化>	
1. 人的な事業推進態勢の充実	
2. 財源の確保と財政運営	
C. 2010年度事業報告	21 ページ
1. 特に重点的に取り組んだ事業	21 ページ
1. 「潜在的市民層への働きかけ（NPOと協働で）～ボランティアスタイル事業	
2. 東日本大震災の被災地を支えるための緊急支援の取り組み	
3. 9年ぶりに研究誌を創刊！「ボランティア研究」で理論化を深める	
4. 多文化共生社会づくりへの実践として地域との関係づくりにも着手	
5. 事業運営を進める体制整備と、自立的財政確立に向けた努力	
2. 各事業ごとのトピックス	23 ページ
1. ボランティアコーディネーション事業	
2. 市民力向上事業	
3. NPO基盤整備事業	
4. 市民活動団体の活動拠点提供事業	
5. 「企業市民活動推進センター」事業	
6. 情報提供・出版・市民シンクタンク事業	
3. 事業の部門横断的実績分析	27 ページ
1. 相談・コンサルテーション・コーディネーション事業	
2. 活動支援	
(詳細編)	
1. ボランティアコーディネーション事業	33 ページ
1. コーディネーターによる相談・調整、プログラム開発	
2. メディア（インターネット・情報誌など）による情報発信	
3. ボランティアコーディネーション向上に関する取り組み	
2. 市民力向上事業	43 ページ
1. 研修事業の全体像	
2. 講座・研修会の開催	
3. 他団体主催講座への講師派遣	

3. NPO基盤整備事業	50ページ
1. NPO・社会起業家のインキュベーション&マネジメントの相談・研修	2. 支援者とNPOの連携支援事業
3. NPOの情報提供事業	4. 自治体のNPO関連施策・協働推進支援事業
5. NPO推進機関への支援とネットワーク推進事業	6. NPOの税・法制度改革や会計基準策定に対する取り組み
4-①. 大阪NPOプラザ（ONP）運営事業	60ページ
1. 大阪NPOプラザを構成する入居、ブース利用団体	2. 大阪NPOプラザで実施された様々な動き
3. 大阪NPOプラザの全体的利用状況	4. 大阪NPOプラザの経営状況
4-②. 北区事務所での活動の支援	64ページ
1. 会場利用登録団体への支援	2. 会場利用登録団体の状況
3. 「同心同志会」の取り組み	
5. 「企業市民活動推進センター」事業	66ページ
1. コンサルテーション事業	2. 教育・研修・研究事業
3. 社会的責任（SR）に関するNPO/NGOからの発信	4. 東日本大震災への支援
6. 情報提供・出版・市民シンクタンク事業	69ページ
1. 市民活動総合情報誌『ウォロ（Volo）』の発行	2. 他の情報提供事業
3. 書籍の発行と発行経費の回収	4. 市民シンクタンク事業
5. 学会発表と研究会・審議会などへの参画	
7. 国内外のネットワーク推進事業	73ページ
1. 国内でのネットワーク活動	2. 海外とのネットワーク推進
8. 人的な事業推進体制の充実	75ページ
1. 会員の拡大	2. 組織活動
3. 市民参加による事業推進	4. 事務局体制の充実
9. 財源の確保と構成	81ページ
1. 2010年度の財務状況	2. 会費・寄附・補助金・助成金関係
3. 自主事業収入・受託事業収入	4. 大阪NPOプラザの経営
5. 大阪ボランティア協会活動振興基金	6. 大阪ボランティア協会の決算全体概況として

D. 2010年度決算、2011年度予算 ----- 84ページ

1. 一般会計	84ページ
2. 公益事業会計	86ページ
3. 貸借対照表	87ページ
4. 財産目録	88ページ

E. 2010年度の援助者および会員 ----- 89ページ

1. 団体賛助会員および団体寄付者	89ページ
2. 個人寄付者	89ページ
3. 個人会員	90ページ

【付録】定款	93ページ
会員規定	98ページ
協会事業の沿革・抄	99ページ